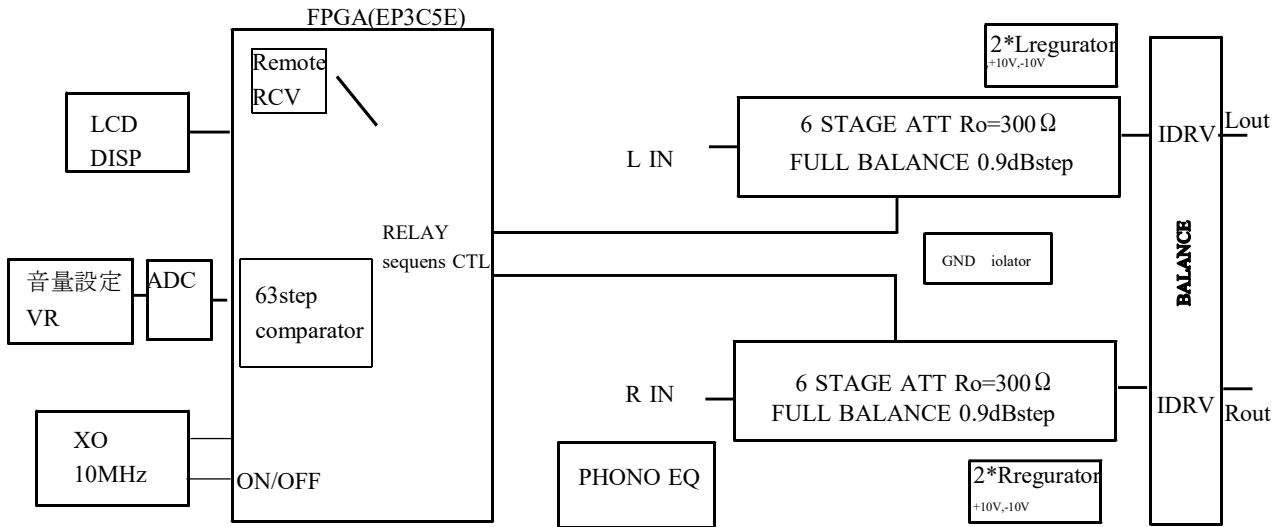


特徴、性能

- 1 独自のJITTER REDUCTIONによりS/PDIF光入力でもJITTERの無い高音質音声 AFPC//HOLD/APCを選択できる。APCは所謂ジッタークリーナー程度の抑圧特性 市販のSRCはジッターを含めて変換するので音質の向上には適さない。
- 2 ES9038PROのDPLL BWは最も高音質なNoBandWidthとLowestのみであるが DSDを含めて誤動作異音発生は無い。
- 3 PCM=>DSDrealtime変換はOFF/128/256/512/1024迄可能
- 4 HEADROOMを確保しているのでoversamplingによる歪が無い
- 5 DC直結、FULLBALANCE構成でOFFSET電圧は1mV以下
- 6 リモコン設定可能
- 7 EEPROM内蔵によって電源投入時の任意設定が可能
- 8 S/PDIF、HDMI、USB入力はPCM/DSDを含めsampling周波数も自動判別表示する。
- 9 HDMI、USB入力はisolatorを挿入し、DSDのL/Rは入れ替え可能
その時PCM信号は自動判別切替する。
- 10 THD+Nは0.0007%、S/N(A)は120dB
- 11 受信可能信号は、PCMfsは44.1k/48k~352.8k/384kHz、DSDfsは*64~*512
- 12 電流駆動可能
- 13 SPOT REGURATORは1.5使用

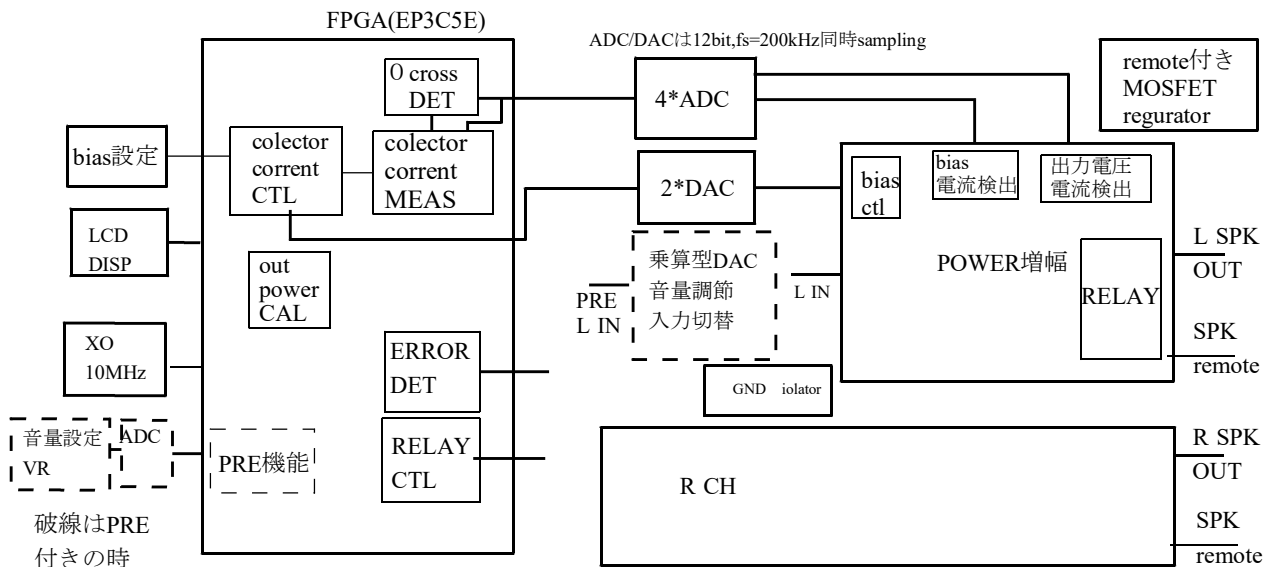
価格(税込み) ¥300,000~ キット時は¥210,000~



特徴、性能

- 1 入力はbalance×4 又ははbalance×2とunbalance×2、
出力はbalance×2 又はbalance×1 とunbalance×2
- 2 入力はCOMMONを含めて切り替えているので機器間の妨害を排除できる。
- 3 定抵抗(300Ω)ATT方式なので小音量時の音痩せ、ギャングエラーは皆無
- 4 L/Rbalance設定可能
- 5 電流駆動によって高音質化ができる。
- 6 LowZ入力(300Ω)はAIT DACと電流駆動で直接接続できる
BALANCE入力は600Ωとなり業務用機器と接続し易い
- 7 balance=>unbalance、unbalance=>balance変換可能
- 8 PHONO EQ搭載可能(unbalance構成)
- 9 リモコン設定可能
- 10 clock妨害による音質劣化を防ぐclock停止機能あり
パッシブプリと同様にできる。
- 11 THD+Nは0.0005%、S/N(A)は127dB(4VrmsBAL出力,300Ω/300Ω終端)
- 13 SPOT REGURATORは10使用

価格(税込み) ¥230,000～ キット時は¥210,000～



特徴性能

- 1 FULL BALANCE BTL 構成
- 2 classA動作あっても可変bias機構により小出力時の発熱が少ない。
biasは任意に設定可能、AUTO時は音量追従して自動的にclassAに設定される。
- 3 可変bias機構によりエミッター抵抗は無く、トランジスタ等の熱結合、選別も不要
- 4 パワー段にremote sensing付きMOS FETregurator採用し高音質化
- 5 スピーカー出力にremote sensing機能搭載可能
ダンピングファクターが実使用状態で3,000程度になる。
他社等remote sensingが無ければ、実使用状態は配線材を含むので100程度に留まる。
- 6 ヘッドフォンアンプとしても切替使用可能
ただし4線式ヘッドフォンに限る(4pXLR and/or 2×3pXLR)
- 7 2入力切替のプリアンプ搭載可能
音量調節は乗算型DAC(16bit)を使用(A社AAVAと同様方式)
- 8 $S/N(A)=132\text{dB}(15\text{W})$ 入力換算雑音 $=0.35\mu\text{V}$
- 9 $\text{THD+N}=0.0007\%(1\text{kHz}, 15\text{W})$
 $\text{THD+N}=0.0009\%(6.5\text{kHz}, 15\text{W})$
(LPF=20kHzで測定のため7kHz以上のTHDは2次以上が除去され測定値が正しくない)
- 10 -3dB帯域幅 DC~300kHz(10W)
- 11 出力OFFSET電圧 1mV以下 DCサーボ使用していない
- 12 ゲイン 18dB (8倍)
- 13 SPOT REGURATORは1 2使用

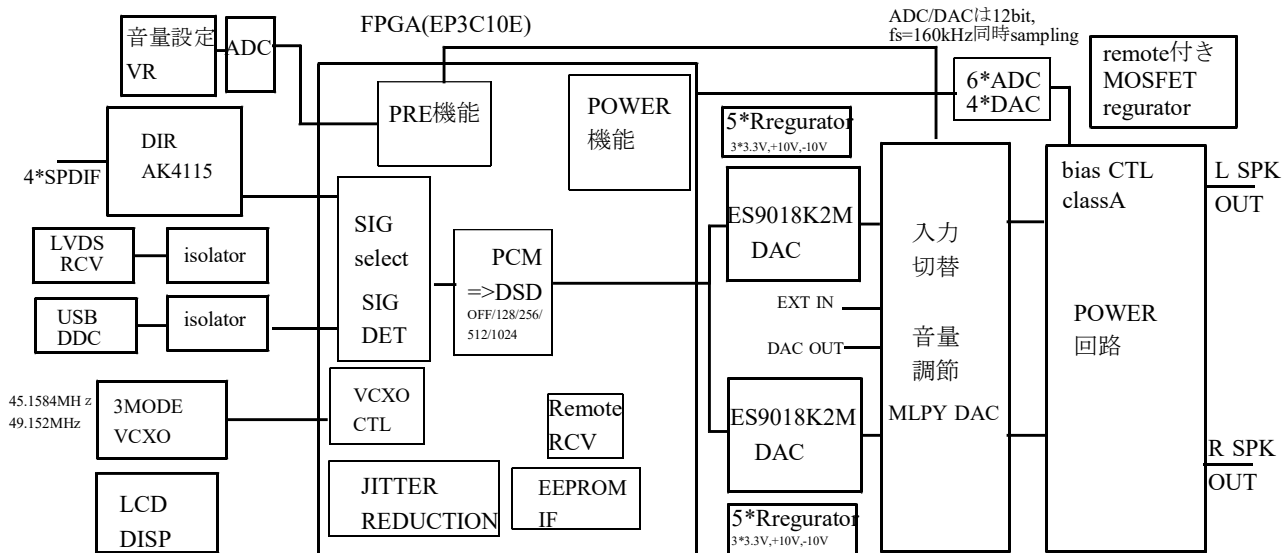
価格(税込み) ¥260,000~ キット時は¥240,000~

MONO/パワー

価格(税込み) ¥390,000/2台~

DAC/PRE/POWER一体型

AIT研究所 角田
xrmnk344@ybb.ne.jp
2019/3/10



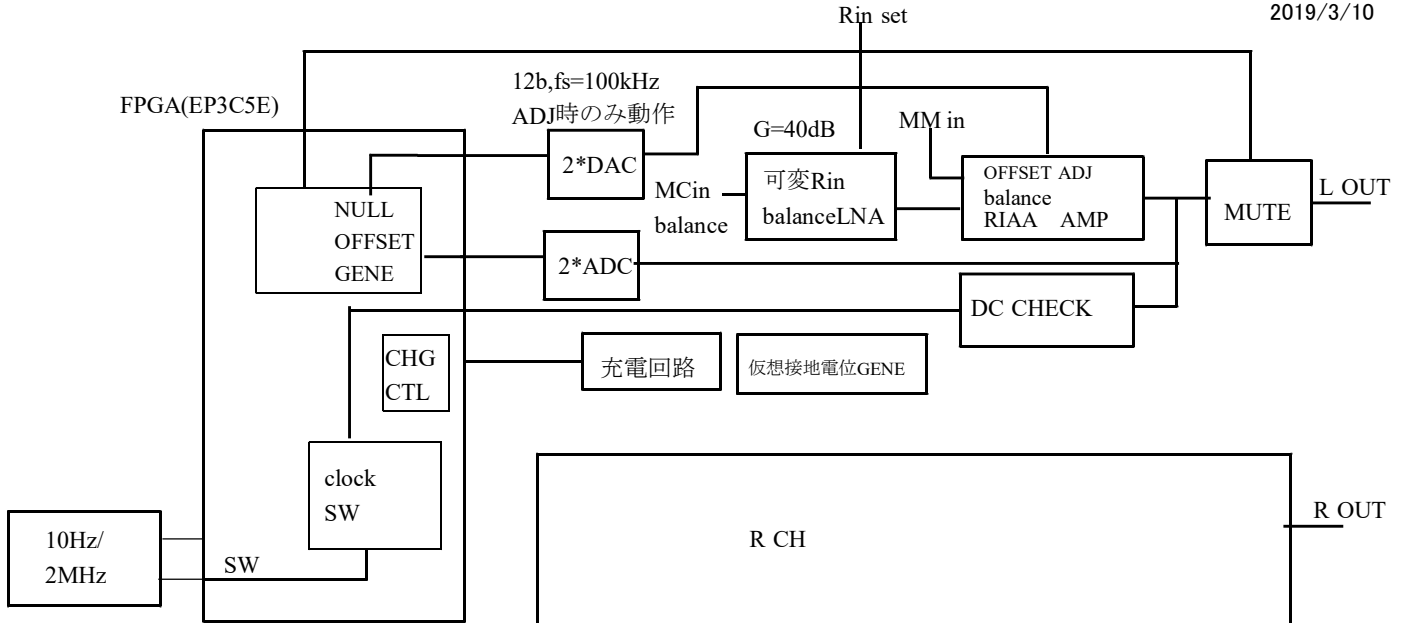
特徴、性能

- 1 独自のJITTER REDUCTIONによりS/PDIF光入力でもJITTERの無い高音質音声 AFPC//HOLD/APCを選択できる。APCは所謂ジッタークリーナー程度の抑圧特性 市販のSRCはジッターを含めて変換するので音質の向上には適さない。
- 2 ES9018K2MのDPLL BWは最も高音質なNoBandWidthとLowestのみであるが DSDを含めて誤動作異音発生は無い。
- 3 PCM=>DSDrealtime変換はOFF/128/256/512/1024迄可能
- 4 HEADROOMを確保しているのでoversamplingによる歪が無い
- 5 DC直結、FULLBALANCE構成でOFFSET電圧は1mV以下
- 6 DAC/PRE機能をリモコン設定可能
- 7 EEPROM内蔵によって電源投入時の任意設定が可能
- 8 HDMI、USB入力はPCM/DSDを含めsampling周波数も自動判別表示する。
- 9 受信可能信号は、PCMfsは44.1k48k~352.8k/384kHz、DSDfsは*64~*512
- 10 POWER AMPはFULL BALANCE BTL 構成
- 11 classA動作あっても可変bias機構により小出力時の発熱が少ない。 biasは音量追従して自動的にclassAに設定される。
- 12 可変bias機構によりエミッター抵抗は無く、トランジスタ等の熱結合、選別も不要
- 13 パワー段にremote sensing付きMOS FETregulator採用し高音質化
- 14 スピーカー出力にremote sensing機能搭載可能
- 15 ヘッドフォンアンプとしても切替使用可能
ただし4線式ヘッドフォンに限る(4pXLR and/or 2×3pXLR)
- 16 DAC出力と外部入力があるので、DACのみ又はMAINAMPとしても使用可能
- 17 音量調節は乗算型DAC(16bit)を使用(A社AAVAと同様方式)
DACチップの音量可変機能を使用すると音質が劣化し、且つ外部入力時設定できない
- 18 S/N(A)=120dB(15W) POWER直接入力時S/N(A)=130dB(15W)入力換算雑音=0. 4 3 μV
- 19 THD+N=0.001%(1kHz、15W)
- 12 SPOT REGURATORは1 2使用

価格(税込み) ¥300,000~

DC DIRECT COUPLED PHONOEQUALIZER AMP

AIT研究所 角田
xrmnk344@ybb.ne.jp
2019/3/10



特徴性能

- 1 MC/MM共完全にDC直結動作、MCはFULL BALANCE構成
- 2 カートリッジとBALANCE接続すればハムの影響が大幅に減少する (GND配線不要)
- 3 出力に直流が発生した場合は音声をMUTEし、自動的にOFFSET調整動作しMUTEを解除する。
1秒程度で収束する。OFFSETがあるときはMUTEする。
電源投入後10分程度で安定する。
- 4 1.2VバッテリーをL/R各1個使用し、充電機能あり充電中も動作可能
残量警告表示あり。
- 5 通常使用時FPGAのclock周波数は10Hzと非常に遅くしているため音声出力に影響がない。
OFFSET調整時のみ2MHzで動作させOFFSET調整を早くしている。
clock停止時はDACに電圧保持動作をさせている。
- 6 LNAには高性能オペアンプ(LT1028)を使用
サブ基板構成とし1枚のLNAに4個のオペアンプを搭載している。
最大L/R各4枚のサブ基板を装着できるので、最大32個のオペアンプ使用となる。
多くなった方がS/Nが増加し、音質も向上する。
- 7 LNAは帰還抵抗で入力抵抗が決定される回路としているため、終端抵抗による損失がなく実効S/Nが向上する。
- 8 MMも可能、この時はRin=47kΩ unbalanceとなる。
- 9 出力電圧(balance) 3V (0.3mVbalanceMC入力時)
- 10 RIAA偏差 ±0.2dB程度
- 11 THD+N 0.01% 1kHz 入力換算雑音=0.03μV
- 12 SPOT REGURATORは仮想接地を含め8使用

価格(税込み) ¥200,000~